

【WIPO】2025年のPCT国際出願件数を発表

世界知的所有権機関（WIPO）によりますと、2025年のPCT国際特許出願件数は、前年比0.7%増の275,900件で、2年連続での増加となりました。

2025年における上位10ヶ国の出願件数、全世界の出願件数に対するシェア及び2024年比は、以下の通りです。

	国名	出願件数	全世界の出願件数に対するシェア	2024年比
1	中国	73,718	約26.7%	5.3%増
2	米国	52,617	約19.1%	3.0%減
3	日本	47,922	約17.4%	1.0%減
4	韓国	25,016	約9.1%	4.9%増
5	ドイツ	16,441	約6.0%	1.8%減
6	フランス	7,898	約2.9%	2.8%減
7	英国	5,708	約2.1%	2.6%減
8	スイス	5,084	約1.8%	4.5%減
9	インド	4,149	約1.5%	8.8%減
10	オランダ	4,102	約1.5%	4.8%減

米国は4年連続の減少となり、日本およびドイツは3年連続の減少となりました。一方、韓国は4.9%増と伸びを示し、28年連続成長を記録しました。また、中国は5.3%増と引き続き高い出願件数を維持しています。

出願人別にみえますと、中国のファーウェイ（7,523件）が2017年から引き続きトップとなり、韓国のサムスン電子（4,698件）、米国のクアルコム（3,227件）がこれに続いています。

公開されたPCT国際出願の技術分野別の出願件数の1～5位及びその占有率は、デジタル通信（約11.1%）、コンピュータ技術（約9.6%）、電気機械（約9.0%）、医療技術（約6.3%）、製薬（約4.3%）でした。

前年に続き、デジタル通信が最大の技術分野となり、コンピュータ技術を上回る結果となりました。

詳細につきましては、WIPOの以下URLをご参照下さい。

https://www.wipo.int/pressroom/en/articles/2026/article_0003.html